

きょうのきょうどう とくべつばん

今日の協働 特別版

砂川市市長公室課協働推進係



～東地区コミュニティセンター清掃～

5月26日、東地区コミュニティセンターの清掃に参加しました。指定管理者である晴見、東晴見、新晴見の3町内会で構成する管理運営協議会が毎年行っています。参加した約15名で玄関清掃や窓の水拭きをし、綺麗にしました。



～みやかわマルシェ～

6月30日、宮川中央団地町内会でみやかわマルシェが開催されました。会場となった宮川集会所の中ではおむすびやお菓子、ジャムなどの販売や、足もみなどのリラクゼーション、リユース品の配布や射的など、たくさんのコーナーを楽しむことができ、集会所の外では花苗の販売や、クレープ、コロッケ、じゃこ天など三台のキッチンカーが出店していました。天気も良く、開始と同時にたくさんの人で賑わっていました。



～空知太すみれ町内会 盆踊り～

8月11日、空知太すみれ町内会の盆踊りが開催されました。会場となったすみれ公園には提灯の飾り付けや太鼓が置かれ、また焼き鳥やビール、子ども用のくじ引きの屋台も並び、盆踊り開始前からにぎわっていました。



～空知太第5町内会 防災研修～

10月6日、空知太第5町内会は空知太老人憩いの家で砂川まちづくり出前講座「避難所運営ゲーム（HUG）をやってみよう」を受講しました。HUGは、様々な避難者や起こりうる状況を想定しながら、どのように避難所を運営していくかを考えるゲームです。

各グループに分かれ意見を出し合いながら、どこに避難者を誘導するか、想定されるイベントにどう対応するかについて活発に話し合っていました。

ゲームの最後には、それぞれのグループでほかのグループに聞いてみたいことを挙げてもらいました。ペットや盲導犬を連れてきたときの対応や、数に限りのある防寒具の分配方法などについてなど、様々な考えを発表していただきました。



じしゅぼうさいそしき かつどうしょうかい 自主防災組織の活動紹介

～東雲町内会自主防災組織 救急救命講習～

8月4日、東雲町内会自主防災組織で救急救命講習が行われました。2020年以来の実施となった今回の講習に、13名の方が集まりました。

砂川消防署から救急係の方を講師として招き、心臓マッサージのやり方やAEDの使い方などについて学びました。講習の後半では、参加された方一人一人が心臓マッサージや、周囲の人への指示、AEDの準備など、救急救命の一連の動きを実際に体験しました。



～親栄町内会自主防災組織発足～

2月26日、砂川消防署で親栄町内会の自主防災組織発足式が行われました。市内では14番目となる自主防災組織の結成となり、砂川市防火防災協力会より、自主防災旗が贈呈されました。

手塚町内会長は「災害において一番大事なのは自助。自分の身を自分で助けることが一番大事でございます。次に共助ですね。お互いに助け合うこと。私たち町内会も今後さらにいっそう親睦を深め、災害に強い町内会を目指していきたいと思っております。」と述べられました。



町内会等での活動風景を取材します！

協働推進係では、各町内会や地域活動団体が行っている活動取材し、砂川市ホームページに掲載しています。他の町内会ではどんな活動を行っているのか、どんな活動を行えばよいのか知りたいときにぜひご覧ください。

また、活動を紹介したい場合は協働推進係【TEL:54-2121】にお問い合わせください。

詳細はこちらを
ご覧ください！

